



# あなたの準備 できていますか？



悲しみを越えて、次の一步を踏み出すために

看取りを迎えた家族・遺族には、それを支え続けたスタッフだからこそできるケアがあります。最期まで自分らしく生きることを支え、その先に必ずある看取りを通し、次の一步を踏み出すためのケアを一緒に考えてみませんか。

## 第1部

### 高齢者施設での 看取りについて

～その人と家族の人生（物語）を  
充実させる意思決定支援～

**橋本 武也 氏** 社会福祉法人 同和園 園長

看取りをすることに身構えていませんか？  
「しっかりした日常ケアと適切な判断があれば、  
看取り期は特別に何かをすることはありません」  
と橋本園長。  
同和園では現在、年間約60人の看取りを行っています。看取りを「生の延長線上にある」ものとしてとらえ、最期まで支えていくことを共に考えていきましょう。

## 第2部

### 家族・遺族を 支えるグリーフケア

**黒川 雅代子 氏**

龍谷大学短期大学部 社会福祉学科 准教授

救命救急センターの看護師の経験を持ち「人の生と死、家族・遺族のケアについて、しっかり考えたい」と研究者の道へ。  
現在、遺族会「ミトラ」を設立し、大切な人を亡くした人たちが集い、気持ちを分かち合う場を提供しています。  
私たちは悲しみを抱えながら生きていく家族・遺族にどう関わっていけばよいのでしょうか？

**日時：** 2月 27 日 **土** 14:00 ～ 16:30

**場所：** 宇治徳洲会病院 10F会議室 **定員：** 200名（参加費無料）

**対象：** 医療や介護にかかわる多職種

主催・申込み先：**宇治久世医師会**（看取り委員会） **FAX: 0774-24-8761**

※ 参加希望の方は、下記の表にご記入いただき、FAXにてご返送ください。

※ 当日参加も歓迎いたします。お誘いあわせの上お越しください。

| ご氏名 | 所属機関 | 職種 |
|-----|------|----|
|     |      |    |
|     |      |    |
|     |      |    |
|     |      |    |